

峰山学園

# 応援ニュース

峰山学園教育支援協議会  
平成27年11月9日  
第5号

## 峰山学園「クリーンキャンペーン」支援ボランティア

学校等と家庭・地域社会の連携・協働を目指して

10月27日（火）、峰山学園で「クリーンキャンペーン」が行われました。小中学生が交流を深



めると共に、自分たちの地域を自分たちで美しくしようという意識を高めることをねらいに行われました。本協議会では、豊かな教育環境づくりを支援し、学校等・家庭・地域社会の「横の連携」を深めるために、「行事支援ボランティア」の取組を行いました。その様子をボランティアの方の感想から紹介します。ボランティアの皆さん、ご協力ありがとうございました。

### 「横の連携」もっともっと広がることを期待したい

峰山学園「クリーンキャンペーン」の取組に行事支援ボランティアとして参加しました。このボランティア活動は、峰山町の各小学校区内を小学校児童と中学校生徒が、一緒になって行う清掃活動を支援するものです。

私が参加したのは峰山小学校区内で、小学4年生の児童、峰山小学校を卒業した中学生、教員の総勢約50名が、2班に分かれて行われました。小中一貫教育の一環でもある、小学生と中学生が交流する行事であります。中学生がリーダーとなり、小学生に対し優しく時には厳しく接する中、児童生徒のだれもが積極的に取り組んでいました。特に小学生は、目についたごみをただ拾うということではなく、「ゴミを見つけてやるぞ」、そして「かえてビニール袋を一杯にしてやるぞ」という意気込みで取り組んでいました。

終わった後、多くの児童生徒の「まちをきれいにできて良かった」、また「大勢の人が一緒になって活動出来た事がよかった」等の感想を聞き、行事支援ボランティアの活動の目的の一つでもある、児童生徒が達成感を味わい、自己肯定感も多少なりとも高められたと感じました。もう一つの目的である、学校等、家庭、地域社会の「横の連携」については、今回峰山小学校区では、PTA（保護者）の皆さんが参加されていなかったのが少し残念でした。

今後、もっともっと「横の連携」の輪が広がっていくことを期待したいと思います。短時間で狭い範囲ではありましたがいい汗をかかせて頂きました。

峰山学園教育支援協議会

副会長 吉田 件昨（峰山町区長会 会長）



## 小学生も中学生も一緒に活動が 大きな喜び

峰山小学校出身の中学生と峰山小学校の4年生と共に、峰山学園峰山小学校のクリーンキャンペーンに参加しました。中学生の3人のリーダーによる開会式後、2つのグループに分かれた清掃活動を行いました。私は、峰山小学校から北の方向に行くグループでしたが、ほとんどゴミは落ちていませんでした。元町区の公園や道路わきの溝もきれいでした。それでも子供たちは必死でゴミを捜し、小さい紙きれでも「あった。あった。」と喜んで火箸でつまんで入れていました。

1時間ほどのゴミ拾いでしたが、全員遊ぶ事なくやりきった事と、元町区の住民の方が、日々地域をきれいにしている意識の高さに感心しました。閉会式では、ほとんど全員の小学生が感想を言いたくて手を挙げていましたが、小学生にとって的確な指示を出した中学生と一緒に活動出来たことを本当に喜んでいただけました。

(今回は、行事支援ボランティアとしては、区長会長の吉田さんと二人だけでしたが、子ども達と一緒に活動することで、子ども達の素晴らしさを感じる事が出来るので、多くの人に参加を期待します。)

峰山地域公民館 館長 中山 一

## 地域で、もっとみんなが ゴミをしないという意識を

峰山学園クリーンキャンペーンに行事支援ボランティアとして参加させていただきました。

曇りの中、中学生と小学生がペアとなり、仲良くゴミを拾っていました。中学生が小学生のお世話をして楽しそうに頑張っていました。

日頃は車で通っている道も、歩いてみると、沢山のゴミが落ちていました。子ども達が頑張っている様子を見て、みんながもっと、ごみをしないという意識を持たなくてはならないと思いました。

次の機会も参加したいと思います。

峰山学園 PTA

代表 中西 良太

(長岡小学校 PTA 会長)





### 中学生の優しさ、全員の笑顔、 楽しみながらのキャンペーン

少し早く到着した中学生の皆さん。グループ毎に整列して座り、開会に向けて打ち合わせを笑顔を変えながら行っていました。小学生が到着すると、打ち合わせ通り自己紹介を笑顔で行い、小学生の緊張を解いてくれました。

いざ出発。二人一組で行動開始。中学生は大きなゴミ袋を持ち、小学生が拾ってきたゴミを、『これ燃えるゴミ。』『これ燃えないゴミ。』と、とても優しい言葉かけをしながら、キャンペーンが進んで行きました。

このキャンペーンに参加して、一番感心したのは、中学生の優しさでした。全員が笑顔で、小学生たちに話しかけ、楽しみながら参加していた姿でした。小学生たちはそんな中学生の下、とても真剣にゴミを捜し、袋の中に入れていました。『大丈夫か。』男子生徒の優しい言葉かけ。今日、素直で優しい中学生の姿に接し、とても嬉しかったです。

今後も授業に部活動、生徒会活動に頑張ってもらいたいと思いました。応援しています。

峰山町民生児童委員協議会  
主任児童委員 田中 美智恵



このキャンペーンの行事支援ボランティア活動を通して、小中学生の地域清掃活動と交流を深める事に対して支援する事が出来ました。今回の活動は地域に出かけて行くことで、子どもたちは多くの事を学んだ事と思いますが、支援する側も子ども達から多くの感動や喜びを味わうことになりました。

峰山学園では、小中一貫教育の体験活動を可能な限り実施されています。このような機会に、行事支援ボランティア活動を行う等、できる所で出来る事を支援する事により、地域の子供達がすくすくと育っていることを実感すると共に、守り励まし、育てる事が地域の支援ではないでしょうか。「ゆっくり・いつまでも」結い（ゆい）の心で。